

第13回全日本高校模擬国連大会 書類選考課題

グローバル・クラスルーム日本委員会

以下の問1~4すべてに答えなさい。ただし、問1~3はチームで1つ答案を作成し、問4については生徒1人につき1つずつ答案を作成すること。なお、**氏名や学校名など、個人が特定可能となる情報を解答欄内に書かないこと。**

問1 (日本語で解答すること)

課題論文¹を読み、相対的貧困とは何か、絶対的貧困と対比させてまとめた上で、相対的貧困が子どもに与える社会的影響について筆者の考えをまとめなさい。(200字以内)

問2 (日本語で解答すること)

国際連合児童基金(UNICEF)は子どもの貧困撲滅に向けて取り組んでいる国際機関の1つである。そのUNICEFが先進国における子どもの貧困を測定する経済的指標として使用しているものを2つあげてその内容と意義を説明しなさい。さらに、それらをもとに日本の現状を簡潔にまとめなさい。

ただし、UNICEFによるモニタリングの期間内で内容に変化があったものに関しては2014年1月時点で最新のものを使うこと。加えて、課題論文、およびその他報告書や論文を引用する際には出典を明記し、最後に引用した文献のリストも添える²こと。なおその引用や文献のリストは字数に含まれない。(500字以内)

問3 (日本語で解答すること)

貧困を撲滅することと同時に「幸福度」(Well-being)を高めていくアプローチの重要性も国際社会において確認されてきた。子どもの幸福度に関して、2013年にUNICEFは、先進国の子どもの幸福度を5つの分野において評価した³。その5つの基準とは、物質的豊かさ、健康と安全、教育、日常生活上のリスク、住居と環境である。日本の総合順位は31カ国中6位であり、さらにその上位は、オランダ、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンにより占められている。

こうした「幸福度」に関する国際的な傾向を踏まえて、日本の「子どもの幸福度」の2013年時点の現状を詳細に分析し、さらにその原因を考察しなさい。ただし、先述の5つの分野各々に基づき、さらにオランダの子どもの幸福度と比較した上で、述べること。

問2と同様に、課題論文、およびその他報告書や論文を引用する際には出典を明記し、最後に引用した文献のリストも添えること。なおその引用や文献のリストは字数に含まれない。(1200字以内)

¹阿部彩(2012)「「豊かさ」と「貧しさ」：相対的貧困と子ども」『発達心理学研究』23巻4号、p.362-374。(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjdp/23/4/23_KJ00008521584/_pdf/-char/ja)

²引用やリストの形式の注意は、2ページにて記されているので、参照すること。

³ユニセフ・イノチェンティ研究所 2013年「レポートカード11: 先進国における子供たちの幸福度—日本との比較 特別編集版 (Child well-being in rich countries: A comparative overview)」

(https://www.unicef.or.jp/library/pdf/labo_rc11ja.pdf)

阿部彩(2012)「「豊かさ」と「貧しさ」:相対的貧困と子ども」『発達心理学研究』23巻4号、p.362-374。

問題は以上です。不明点・質問がございましたら、contact[at]jcgc-mun.orgにご連絡ください。([at]は@に変更してください)
頂いた質問は(個人情報を伏せた状態で)公開させていただく場合もございます。